

講義名	教養特講（経営学科へのいざない）										授業形態	
担当教員	柿沼西条来栖平 杉樹正利 英樹岡田 青木岡田 崇井上 井上芳郎 上野俊一郎 恵実岡村 奈美白鳥 白鳥和生 洋李 東浩				開講期・曜日・時限		前期 火曜日 3 時限					
							単位数	2	履修開始年次	1 年生	ナシバリグ・コード	FYE101

主題と概要

本科目は、企業経営の大きなプロセスにせよとならないうが、商業部経営学科における専門的な内容についての導人的な解説を行うものである。経営学科に所属する各専攻の教員が、自身の担当科目に関連する重要なトピックについて、(1)企業経営の基礎的な概念を理解してもらうこと、(2)経営戦略、(3)経営戦略の「起爆」事業戦略、「グローバル化経営」、「会計」、「フュージネス」の5つのコースのなかから、興味・関心のある分野や2年次以降に学びを深めたい分野を明確化してもらうことを目指す。

到達目標

(1) 商学部経営学科での学びの全体像を理解できるようになる。 (2) 2年次以降の所属コース選択について具体的に考えることができるようになる。

提出課題	
	(1) 授業回ごとに、小テスト課題やレポート課題を実施する。 (2) 課題内容や提出方法、期限などについては、各授業回の担当教員の指示に従うこと。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題の提出期限後に、各授業回の担当教員が定めた形式で全体向けにフィードバックする。

評価の基準

(1) 各授業回の担当教員が定める方法で実施する小テスト課題やレポート課題の合計得点で評価する。詳細は、別途案内する。

(2) 欠席した場合は、その授業回の得点を得ることはできない。ただし、欠席理由が提出された場合は、別途配慮する。

(3) 定期試験は実施しない。

履修にあたっての注意・助言他

(1) 15回すべてに出席して課題を提出したとしても、合格点に達していなければ単位は修得できない。この点を意識して、毎回の授業にきちんと取り組んでもらいたい。

(2) 担当教員ごとに授業の進め方や課題の取り組み方が異なるので、注意すること。

教科書				
使用しない。				
参考図書				
なし。				

その他

(2) 講義資料は、キャンパスクロスもしくはRYUKA Portalから配信するので、各自で準備すること。教室内での印刷物の配布は、原則として行わない。

(3) 各授業回の参考図書は、適宜案内する。

案設計画

01. 経営学部の見取り図（総括）：経営学科の学びの全体像と、この授業の取り組み方について解説します。
【予備】シラバスに講義資料を添付し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

02. 企業論（図表）：企業と会社の違いと企業の各種の種類。そして、株式会社の特徴について学びます。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

03. 経営戦略（南木）：経営者の意味、考え方を学び、企業を取り巻く経営環境と企業の経営資源について説明します。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

04. 経営組織（平井）：組織の意味やモチベーション、リーダーシップなどの組織内の動きや振る舞いについて学びます。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

05. 人的資源管理（結語）：経営資源の一つである「ヒト」という資源の特徴や、企業組織の中ヒトどのように管理をするのかを学びます。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

06. フードビジネス（白鳥）：「食」にかかわる企業経営者を引き、フードビジネスの現状と将来性についてとらえます。
【予備】ロイヤルホールディングス株式会社、株式会社ワンダーテーブルの企業概要について公式サイトなどを確認し、情報を整理する（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

07. 会計（米橋）：企業の活動を「数値」に置き換えて理解する会計の考え方とその「からくり(仕組み)」を説明します。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

08. 経営情報（保田）：企業が経営にいかして活用していくか、ITを利用した情報システムの役立て方について説明します。
【予備】情報システムがいろいろあるもの調べ。情報システムにはどのようなものがあるか3点探す（120分程度） 【復習】別途案内する課題に取り組み（120分程度）

09. 起業・事業継承（岡田）：日本における起業・創業を取り巻く環境、様々な起業の形について事例を通じて説明します。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

10. イノベーション（1）（井上）：イノベーション（革新）をもとに、産業・産地、地域や国家を変革した事例を紹介します。
【予備】前回の復習をしっかり行う（120分程度） 【復習】シラバスに次の内容を想像し、どのような情報が読めるか考える（120分程度）

11. イノベーション（2）（井上）：前回紹介したイノベーションが実現した背景にある経営理論を紹介します。
【予備】前回の復習の流れをより深める（120分程度） 【復習】イノベーションの事例と経営理論との関わりを自分なりにまとめる（120分程度）

12. 会計（島田）：企業会計の意味や立ち元について、企業が公表する財務報告の事例分析をもとに説明します。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

13. 国際経営（西谷）：企業家のグローバル経営について取り上げます。国境を越え、異なる政治・経済・文化の中で活動する企業の姿を探ります。
【予備】事前に各自で調査。各キーワードについて調べ、それこそ120分程度に読めるように準備しておく（120分程度） 【復習】学んだ事例の具体例や応用可能性を実社会のなかに見出す（120分程度）

14. グローバル競争（李）：国の競争力をテーマに、様々な価値源及び世界での日本、中国、米国の位置づけを解説し、受通商の大規模な養成です。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】学んだ事例の具体例や応用可能性について書翰などで調べる（120分程度）

15. その他（宇治）：全体のまとめと総括）、これまでの授業内で紹介できなかったトピックを含め、経営学科の今後の学びについて整理します。
【予備】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分らなかった箇所や理解を深めたい箇所について書翰などで調べる（120分程度）

上記はシラバス作成時の計画であり、担当教員の都合等により順番が入れ替わる可能性があります。その場合は、別途案内する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

「知識を知恵に変換することができ、論理的思考力を持った人材」になるために求められる、企業経営に関する基礎知識を獲得することができる。加えて、それら基礎知識を活用して、企業経営の実相を理解するためのポイントを描くことができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
(1) 授業内にて、発言やオンラインツールへの書き込みを求めることがある。積極的な授業参加を期待する。 (2) 小テスト課題やレポート課題は、オンラインツールを活用して実施する。	

実務経験の有無及び活用	
備考	